

「もっと響く指導」に するために！ 生きたデータの徹底研究

「データ」を活用して客観的に生徒の状況を捉え、指導の方針を整理する方策を2006年から12年まで伝えてきた「生きたデータの徹底活用」のコーナー。更に響く指導を実現するために、これまで掲載した記事を基に現場の先生方と改めて指導のポイントを確認し、「データ」の改良を検討します。

テーマ 2年生を学校の中核に育てる初期指導



「生きたデータ」2012年4月号を参考に、
2年生の1年間のよりどころを確認したところ……

●よりどころを見付けさせるための面談シート

_____ 組 番号 _____ 名前 _____

- 2年生の目標は？
()
- 好きな教科は？（とても疲れている時に、1時間勉強しなければならないとしたら、どの教科を選ぶ？）
()
- 得意な教科は？（最近の模試や定期考査で、自分の中で一番成績が良かった教科は？）
()
- 学校行事で一番楽しみにしていることや、部活動でどんなことを頑張りたいと思っているか教えてください
()

ダウン
ロード

私の狙い

2年生の1年間をたるみ切らせないために、「これだけは頑張れる」という生徒のよりどころを見付けさせようとした

取り組み内容

スタディーサポートなどの結果を参考に、「これだけは頑張れる」という教科を面談シートで自覚させ、面談で後押しした

感じた課題

4月時点での生徒把握には役立ったが、以前の学年と比べて「中だるみ」が改善したとは言えなかった。そもそも「中だるみ」は解消すべきものなのか疑問に感じている

「もっと響く指導」
のポイント

①

「よりどころをクラスで宣言させ
下げ止まり」を保証する



以前2年生を担当した時のことを振り返ると、2年生の「中だるみ」をどのようにして防ぐかを悩んだ1年だったように思います。3年生になってからの「伸びしろ」をつくるためにも、課題を与え過ぎることなく、「最低限これだけは」という学習量を意識して、机に向かう習慣を維持させるのは、簡単なことではありませんでした。



A先生の学校でも、2年生は1年生の時に比べて家庭学習時間が減るのですね。実は本校でも例年同じ現象が見られますが、最近は教師の間で「行事、部活の中核になる2年生で学習時間は必然的に減る」と共通認識が持たれ、「『中だるみ』というのは、高校生活に慣れたということ。効率的な予習・復習のスタイルが身に付いていれば、学習時間の減少は善しとしよう」という指導方針になっています。



2年生は、最も高校生らしく活動できる学年だと思いますし、生徒も4月の時点ではそのような期待を持っています。部活動や趣味にのめり込んだ経験を持つ生徒の方が、受験勉強にも没頭できるケースが多いので、学習習慣を最低限維持して、「たるみ切らないで」「下げ止まってほしい」というのが私の本音です。



私もそう思います。たるみ切らずに、挽回可能な範囲で下げ止まらせるためには、効率的な予習・復習のスタイルが身に付き、2年生の1年間を過ごす上での自分なりのテーマを持つことが重要です。そのため、この時期の生徒との面談は欠かせません。

*このコーナーは、高校の先生方（今回は関東）との検討会の内容を基に構成しています。

若手先生代表

関東の公立A高校に
勤務。14年度は2回
目の1学年担任。



A先生(30代)

ベテラン先生代表

関東の公立B高校に
勤務。14年度は2学
年主任を務めた。



B先生(50代)



「もっと響く指導」のポイントと「生きたデータ」活用改訂案

ダウンロード

●よりどころを見付けさせるための面談シート

組 番号 _____ 名前 _____

●もしも今が1年生の4月だったら、何を頑張りますか？

(勉強する時、数学が嫌いでいつも後回しにしまった。数学を一番に勉強し、好きになれるようにしたい。)

●好きな教科は？(とても疲れている時に、1時間勉強しなければならないとしたら、どの教科を選ぶ？)

(4月 国語) (_____ 月)

●得意な教科は？(最近の模試や定期考査で、自分の中で一番成績が良かった教科は？)

(4月 英語) (_____ 月)

●学校行事で一番楽しみにしていることや、部活動でどんなことを頑張りたいと思っているか教えてください

(4月 バレーボール部でレギュラーになれそう。) (_____ 月)
県大会に向けて頑張りたい。

●2年生ではいろいろな体験を通して視野を広げることも大切です。
2年生のうちにこんなことを経験してみたいということはありませんか？

(4月 いろいろな大学の見学をしたい。) (_____ 月)
体験講座や学園祭などに行きたい。

半年後に記入

キリトリせん

私の宣言「2年生ではこれを頑張る！」

部活に全力! 帰ったら数学1日1ページ!

組 番号 _____ 名前 _____

「もっと響く指導」のために
改訂すると……



更に面談では、「最低限これだけはやる」といった2年生の1年間の目標や、「これは自分の強みとして高めたい」といったよりどころを、生徒に考えさせただけで終わりにせず、担任が確認し、サポートしていくことが大切です。面談前に準備させる面談シートでは、「1年生を振り返って、2年生で挑戦したいこと」を明確にすると、1年間の目標やよりどころを明らかにしやすいでしょう。



得意な教科や頑張りたい行事など、よりどころを明らかにしていくという点では前回の面談シートと同じですが、改訂したシートでは、最後に「2年生ではこれを頑張る！」という宣言をさせるのですね。



ここでは「2年生の1年間を充実させ、楽しむための現実的な目標」を聞きたいですね。そして、私が学級担任であれば、面談後に「宣言」部分は切り離し、クラス全員分を集め、教室に掲示します。前向きな言葉で教室を飾ることが出来れば、学級運営の面にも良い効果があると思います。多くの生徒は、「ここをやり直したい」「ここを伸ばしたい」と自分なりの課題を持って2年生の4月を迎えます。ただ、その気持ちを1年間持続させるのは簡単ではありません。面談シートも4月だけでなく、半年後くらいにも再度記入できるようにして、1年間継続して使えるフォーマットにすれば、生徒が途中で振り返ることが出来ると思いますよ。

プラスαの検討ポイント

From 編集部

学校に気持ちが
向かっていない生徒を
前向きなクラスの
一員として迎えるには

今回の検討会では、ある先生から「授業はもちろん、行事や部活動にも没頭できず、学校から気持ちが離れかけている生徒が、前向きな宣言を書くのは困難」という問題提起がありました。2年生をこう過ごしたいという宣言が出来ないばかりか、教室内に前向きな言葉が掲示されることで、その生徒は居心地が悪くなるのでは？ という危惧です。他の先生からは「面談で学校の活動以外のことも話題にして、その生徒なりのよりどころを認める努力が大切」といったアドバイスもありました。生徒間の意識差をどう埋めるかも課題です。



「生きたデータ」2012年4月号を参考に、
先輩の姿から学習意欲を高めようとしたところ……

「もっと響く指導」
のポイント

②

●先輩データから見る2年生の悩み克服シート

	部活動	2年生の頃の悩み	どうやって克服したか	ポイント
A先輩	サッカー部	練習で毎日たくさん。家まで1時間かけて帰った頃には疲れもピークに。眠くて1時間も勉強できない状態でこのままでいいのかと不安になった	運動部に入っている友だちに聞くと、朝早く学校に行ったら勉強したり、電車の中での時間を活用したりしていることが分かったので、自分も試してみた。部活動後、疲れきって机に向かうよりも効率的に勉強ができた	ちょっとした「スキマ時間」を使う
B先輩	なし	これといって理由はないが、2年生になってからなんとなく勉強のやる気がなくなってしまった。家に帰ってもテレビやゲームの時間だけが増えた	先生に相談すると「学校で勉強してから帰ってはどうか」と言われた。自習室に寄ってみると、同じように家では勉強が出来ないから残っている友達があったので、一緒に頑張ることが出来た	学校に残って仲間と勉強する
C先輩	水泳部	文化祭の実行委員と部活動の練習が重なって、7月から10月までは本当に忙しくなっちゃった。勉強する時間が一気に減ってしまっすぎて不安になった	毎日の勉強時間が減った分、日曜日にまとめてやろうと思った。特に英語と数学の予習に時間を割いた	1週間単位で勉強時間を確保する

私の狙い

部活動や学校行事で多忙化する中でも、「これだけはやろう」という最低限の学習目標を見付けさせたかった

取り組み内容

たるみ切らずに、「これだけはやる」という目標を設定して取り組んだ先輩生徒の具体例を事例集にして生徒に配布した

感じた課題

「先輩のようにちゃんとやらなければいけない」という声は生徒から聞かれたが、それを具体的な学習行動に移し、学習時間が増加した生徒はあまり見られなかった

2年生の多忙さに見合った学習スタイルを
生徒だけでなく、教師も考えていく



前回2年生の担任だった時は、学習習慣の確立のヒントを得てもらおうと、3年生が2年次にどのように学習したかを体験談として紹介しました。また、学年集会で学年団の先生が「高校時代の不得意科目勉強法」を話す企画も実施しました。いずれも「参考になった」「いろいろな学習法があることが分かった」と生徒の反応は良かったのですが、具体的な学習行動に結び付いた生徒はあまり多くなかったように感じます。



最近、私は「インプットする情報が上質でも、生徒がそれを消化する機会をつくらなければ、生徒の中を素通りしてしまう」と考えるようになりました。A先生の学校の2年生で行った企画も、きっと生徒を十分に刺激するものだったと思いますが、インプットしたことを基に「自分はどう変わるか」を考え、具体的に計画に落とす工程がなかったため、その場限りの感動にとどまったのではないのでしょうか。



確かに、進路講演会やオープンキャンパスでも、見たり聞いたりするだけでなく、考えたことや目標・決意を書かせることで活動の効果は一層高まりますよね。



3年生の体験談を読んで、自分はどう変わろうと思ったのかまでは書かせたいですね。それを面談で確認することがベストですが、時間がなければ、クラスの仲間でお互いの気付きを話し合うなど、グループワークとして行ってもよいと思います。



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ダウンロードできます！

生徒指導・進路指導ツール集

ベネッセ教育総合研究所

<http://berd.benesse.jp>

生きたデータ

検索

今回のテーマと関連する過去のバックナンバーも同じウェブサイトでご覧いただけます。併せてご活用ください！

HOME→教育情報→高校向け→

生徒指導・進路指導ツール集をご覧ください

2012年度4月号 生徒の「よりどころ」を生かし2年生を学校の中核へと育てる指導



「もっと響く指導」のポイントと「生きたデータ」作成改訂案



●先輩データから見る2年生の悩み克服シート

	部活動	2年生の頃の悩み	どうやって克服したか	ポイント
A先輩	サッカー部	練習で毎日たくた。家まで1時間かけて帰った頃には疲れもピークに。眠くて1時間も勉強できない状態でこのままでいいのかと不安になった	運動部に入っている友だちに聞くと、朝早く学校に行って勉強したり、電車の中での時間を活用したりしていることが分かったので、自分も試してみた。部活動後、疲れきって机に向かうよりも効率的に勉強が出来た	ちょっとした「スキマ時間」を使う
B先輩	なし	これといって理由はないが、2年生になってからなんとなく勉強のやる気がなくなってしまった。家に帰ってもテレビやゲームの時間だけが増えた	先生に相談すると「学校で勉強してから帰ってはどうか」と言われた。自習室に寄ってみると、同じように家では勉強が出来ないからと残っている友達がいいたので、一緒に頑張ることが出来た	学校に残って仲間と勉強する
		文化祭の実行委員と部活動の練習が重なって、7月から10月までは本	毎日の勉強時間が減った分、日曜日にまとめてやるうと思つた。特に英語と数学の予	

私の決意 先輩の体験談を読んで、こんなふうには勉強してみようと思つたことを書こう

放課後、帰りの電車を待つ15分間と電車に乗っている30分間に英単語を覚える。

先生へのお願い 左に書いた決意を実現するために、授業の進め方、宿題の出し方などについて、先生に協力をお願いしたいことがあれば書こう

- ・板書をノートに整理する時間を取ってください。
- ・たまに小テストをして英単語をきちんと覚えられているかチェックしたいです。

「もっと響く指導」のために改訂すること……



B先生の改訂案には生徒から「先生へのお願い」を記入する欄がありますね。これは授業の進め方や宿題の出し方などについて、生徒の意見を聞くということですか？



そうです。生徒は2年生になり、部活動や行事の中核として、多忙になります。そのため、「スキマ時間」を活用したり、苦手科目に絞って予習・復習を行ったりと、自分で工夫して学習を進めることが必要です。私は、2年生を指導する教師も生徒の状況を十分に踏まえる必要があると思います。忙しい生徒に、1年生の時と同じ指導をするのではなく、宿題を段階的に出したり、授業の最後の5分間を振り返りの時間にして復習の負担を減らしたりするなど、2年生に合った指導へと工夫できるといいですね。



生徒の意見をくみ取り、教師も工夫をしていくべきという考えは分かりますが、「授業中に指名をするのはやめてほしい」など建設的ではない意見が出てこないか心配です。



確かにその可能性はあります。だから生徒には、「多忙な中で、より良い学習が出来る集団になるための意見を」「君たちそれぞれの目標を実現させるために具体的な提案を」出してほしいと丁寧に説明しています。自分の努力と教師の工夫で、忙しい2年生でもより良い学びが実現できることを理解させたいですね。



「下げ止まり」「中だるみではなく、慣れ」などユニークな視点を教えていただいたので、次回2年生の担任をする時は、「中だるみ」という後ろ向きな言葉を使わずに指導してみようと思います。

プラスαの検討ポイント

From 編集部

生徒の意見を基にどこまで授業を改善できるか

検討会で最も盛り上がったのは、「生徒に授業改善の意見を聞く」という話題が出た時です。安易な授業批判になってしまうのでは？ という心配の声が上がる一方で、「板書を整理する時間を取ってほしいという意見があったので、今日はその時間を確保してみたけれど、どうだった？」など生徒と共により良い授業をつくる姿勢を示すことで、授業を大切にしようとする生徒の意識が一層高まるのではないかといった意見もありました。授業評価を日々の指導にどう反映させるかというテーマにもつながる、重要な課題提起でした。